

【教育の充実（選択）】

開 講 日	平成 23 年 8 月 2 日（火）		
講 習 時 間	9:00 ~ 16:50（6 時間） 休憩時間含む		
科 目 名	考古学がひらく新たなアイヌ史		
担当講師名	乾哲也・葦島栄紀	形 態	講義、実地踏査
到達目標	アイヌ史に関する新しい動向と問題点を理解する。 地中から出土したナマの歴史の感動を教室に応用できるようにする。		
講 習 内 容	<p>1 アイヌ史の諸問題（講義） 北海道史・アイヌ史の時代区分（続縄文文化・擦文文化・オホーツク文化など） 従来の「受動的で変化に乏しい」アイヌ・イメージの転換 交流論・共生論などによるダイナミックな近年のアイヌ史像 「新しいアイヌ史」構築への動向の紹介と、解決すべき諸問題</p> <p>2 アイヌ考古学の現場に触れる（講義＋遺物実見・現地踏査） 考古学の基礎知識 厚真町の遺跡概要 年代決定の方法など 地域の遺跡・遺物（文化財）をいかに生かすか 遺物の取り扱い・現場の歩き方についての諸注意</p> <p>地層・火山灰 モノからみた交通・交易（道内外、本州や大陸との交流） アイヌの生産（鍛冶・狩猟活動など）、儀礼、豊かさ（豊富な鉄や宝の保有など）</p>		
試 験 の 形 態	筆記試験（60 分）		
評 価 の 基 準	アイヌ史・アイヌ考古学に関する基礎的な知識と、最近の諸問題を把握しているか。 児童・生徒たちのアイヌ史への理解や、地域の歴史に対する愛着を育む、授業への生かし方についての見識。 およそ以上の 2 点を基準として、合否を判断する。		
履 修 上 の 注 意	遺跡・遺物（文化財）に接する際は、事前に説明する諸注意を守って慎重に行動してください。		
持 ち 物	筆記用具、カメラ等（任意）、外歩き向きの服装・靴		